

九月六日

今日は取材があるので世田谷村の片付けをジタバタやる。この乱雑降りはチヨットやソットのものではないが、家の者全員の性格が良く表現されている。前は見るのだが後を見るのが不得意なのだ。片付ける、守る、そういう事に誰も関心がない。時々取材は家の中の整理整頓に取っては有難い。十時半銀花編集部青戸さん来る。色んなおしゃべりする。十三時二〇分まで。青戸さんは、伊豆の長八美術館以来の付き合いの人だが、最近御縁が無かった。久し振りで楽しかった。十五時研究室M1ゼミ。ファンタジーと社会背景。それぞれ、SFが描く疑似リアリティ、これは外れて惑星ソラリスと二〇〇一年宇宙の旅に移ってしまった。イギリス幼児文学、ex A Aミルンとくまのプーさん。ハリーポッターの商業的成功の意味。デイズニー文化とイギリス・ファンタジー文学。という四つのテーマについての発表があった。良く調べてはいるが、身近なテーマ（それが結局発見出来ぬ事に問題がある）に引寄せられる。良いテーマだと思っただけで残念。前回露出してしまっている。良いテーマだと思っただけで残念。前回の3Dフェイズ、アポロ十三号、南極昭和基地等と連続して考える事が出来たら良かった。二十一時三十分過京王線。今日は七人掛けの席にケイタイ抱いているのは学生男一人。明日は休みだ。原稿書くぞ。

九月七日

朝四時迄、ポール・ヴォリリオの情報エネルギー化社会読む。半分読んで休み。書かれている速力が仲々馴染まない。恐ろしく俗論であるような気もするが。次女友美の読書傾向を介して少々今風の世界に入り込んでみる。昨日、山口勝弘先生から、感動的なファクスが入っていた。こういう交信の存在はポール・ヴォリリオの言説を少々疑わせるに足るな。九時過起床。ポール・ヴォリリオの速度と政治読む。TVで総裁選の猿芝居を見ながらであるが、政治家達のTVメディアでのライブは、政治家の人格、品性を露出させている。つまり、ヴォリリオ風にいえば、政治家はメディアの速度に耐え切れぬ存在になっている。かく言う私も昨晩読んだメディアにすでに侵蝕されているのだな。ハダ寒いくらいの日曜日である。十三時寺町妙高寺打ち合わせ。十五時戻る。テレコムスタッフの方来訪。NHK土曜フォーラムの取材の下見セルフビルドの原稿。静岡、清水市の井木ガレッジを書く。十八時半書き終える。一人で居る世田谷村は静かで虫の音が耳にしみる。二〇時頃、気が付いたら月下美人の大輪一つ咲いていた。強い香りが部屋に充満して漂う。長女徳子アメリカより帰る。又、ニワトリみたいにいるさい女が一人ふえて、私は身の置き処がなくなるな。二十一時四〇分宗柳で夕食、かけそば、そぼろ御飯、だて巻き卵、ビール、食して戻る。